

日米桜寄贈100周年事業イベント・カレンダー
(ワシントンDC主要行事)

| 日程 | 事業名 | 主催者 | 開催地 | 事業概要 |
|----------|----------|--|--------------------|---|
| 3月25日(日) | 昼花火打ち上げ | 日本政府 | 西ポトマック公園 | <ul style="list-style-type: none"> ・全米桜祭り開会式に先立ち、日米桜寄贈100周年事業における日本文化発信事業の一環として、日本の伝統的な昼花火の打ち上げが行われた。 ・デイビッド・カッポス米国特許商標庁長官、ロバート・ボーゲル国立公園局ナショナルモール・記念公園管理部長らをはじめとする約150人の招待客の出席を得て、1883年に平山甚太が日本人で初めて米国での特許を取得した「昼花火」の復刻版花火が約7分間にわたり華やか且つ力強く打ち上げられた。 ・会場では、同じく日本文化発信事業の一環でワシントンを訪問した東北大学ジャズオーケストラによるライブ演奏が行われた。 |
| 3月25日(日) | 全米桜祭り開会式 | 全米桜祭り協会 (National Cherry Blossom Festival: NCBF) | ワシントン・コンベンション・センター | <ul style="list-style-type: none"> ・例年よりスケールアップした会場に約6千人の招待客及び観客が集まり、日米桜寄贈100周年を祝う全米桜祭り開会式が盛大に開催された。スーザン・ノートン全米桜祭り協会 (NCBF) 理事長、ダイアナ・メイヒュー同会長、ヴィンセント・グレイ・ワシントンDC市長らの米側関係者代表より、日本からの桜寄贈にまつわる日米友好への感謝の言葉及び祝辞が述べられた。 ・藤崎大使からは、東日本大震災に際し支援をいただいた米国の全ての方々へ謝意を改めて表するとともに、日々桜の木の維持管理にあたっている米国立公園局関係者の尽力に感謝の言葉を述べた。 ・MISIA(上述の日本文化発信事業の一環)のパフォーマンス、雅楽師の東儀秀樹氏とバイオリニスト古澤巖氏との共演、また、震災後に岩手県大船渡市でボランティア活動を行った米国人シンガーソングライターのサラ・バレリス氏による演奏も行われた。 |

日米桜寄贈100周年事業イベント・カレンダー
(ワシントンDC主要行事)

| 日程 | 事業名 | 主催者 | 開催地 | 事業概要 |
|----------|--|--------------------------------------|------------|---|
| 3月27日(火) | 桜寄贈100周年記念植樹式 | 全米桜祭り協会(NCBF) | 西ポトマック公園 | <p>・全米桜祭りの名誉議長を務めるミシェル・オバマ大統領夫人をはじめ、ケン・サラザール内務長官、原不二子尾崎行雄記念財団常務理事(尾崎東京市長孫)、ウィリアム・タフト四世(タフト大統領曾孫)、及び藤崎大使夫妻らが出席し、日本から米国に寄贈された最初の桜の木が100年前に植えられた日である3月27日に記念式典が行われた。</p> <p>・オバマ大統領夫人より、「桜の木は長年にわたり日米友好のシンボルであり、両国共通の希望や夢、また、この1年余りの日本人々の(東日本大震災後の)驚くべき力強さ思い出させる。」との挨拶が行われ、続いて、次世代を担う子供たちの代表とともに大統領夫人及び来賓による桜の記念植樹が行われた。</p> |
| 3月27日(火) | AKB48ワシントン公演 「Japan Pop Culture Concert 2012 in Washington DC - Celebrating the 100th Anniversary of the Gift of Cherry Blossom Trees with AKB48」 | 日米桜寄贈100周年における日本の現代ポップカルチャー発信事業実行委員会 | リンカーン・シアター | <p>・日米桜寄贈100周年における日本の現代ポップカルチャー発信事業として、AKB48のメンバー16人による無料コンサート(3月27日に昼夜2公演)が行われ、計約2,500人の観客を前に、米国の震災復興支援に対する感謝のメッセージと「元気な日本」をアピールするパフォーマンスが熱演された。</p> <p>・公演前日の3月26日には、AKB48のメンバー3名(高城亜樹さん、宮澤佐江さん、平田梨奈さん)がワシントン市内のトムソン小学校を訪問し、日本文化を紹介するなど児童と交流の場をもった。また、同26日、大使公邸において、AKB48のメンバー3名(高橋みなみさん、峯岸みなみさん、梅田彩佳さん)は、藤崎大使及びダイアナ・メイヒューNCBF会長とともに記者会見を行った。</p> |

日米桜寄贈100周年事業イベント・カレンダー
(ワシントンDC主要行事)

| 日程 | 事業名 | 主催者 | 開催地 | 事業概要 |
|-------------------|--|---|--|---|
| 3月30日(金)～4月29日(日) | 伊藤若冲展 | ナショナル・ギャラリー (National Gallery of Art) | ナショナル・ギャラリー (National Gallery of Art) | <ul style="list-style-type: none"> ・ナショナル・ギャラリーで1ヶ月間にわたり開催された「色彩の世界:伊藤若冲日本花鳥画展」では、宮内庁三の丸尚蔵館保有の伊藤若冲による「動植綵絵」30幅と相国寺保有の「釈迦三尊像」が公開された。 ・「動植綵絵」30幅はこれまで全幅が海外で展示されたことはなく、また、2007年に相国寺において「動植綵絵」と120年ぶりの再会を果たした「釈迦三尊像」を、海外で初めて同時に展示するという希少な機会となり、総入場者23万余り、一日の平均入場者数は7,473人を記録した。同展示の平均入場者数は、ナショナル・ギャラリーの歴史上7位、ここ40年間では第一位の記録となった。 |
| 4月5日(木) | 全米桜植樹プロジェクト: ワシントンDC地域での植樹(アナコスチア・ボーリング統合基地における記念植樹式) | 在日米軍経験者同窓会 (The U.S. Military Japan Alumni Association (USMJAA)), アナコスチア・ボーリング統合基地 | アナコスチア・ボーリング統合基地 | <ul style="list-style-type: none"> ・日米桜寄贈100周年事業の柱の一つである「全米桜植樹プロジェクト」の一環として、アナコスチア・ボーリング統合基地にて記念植樹が行われた。 ・日米安保条約50周年を記念して2010年5月に設立された「在日米軍経験者同窓会」の発起人であるリチャード・マイヤーズ元統合参謀本部議長・元在日米軍司令官(退役空軍大将)、ラルフ・エバハート元北方軍司令官・元在日米軍司令官(退役空軍大将)、ロバート・ナター元艦隊部隊コマンド兼大西洋艦隊司令官・元第7艦隊司令官(退役海軍大将)をはじめ、米五軍(陸、海兵隊、海、空、沿岸警備隊)、陸上・海上・航空自衛隊及び海上保安庁の代表の出席を得て、5本の桜の木が植樹された。 |
| 4月7日(土) | 長岡花火打ち上げ | 全米桜祭り協会(NCBF), 長岡市 | ウォーター・フロント | <ul style="list-style-type: none"> ・例年全米桜祭り期間中に行われる花火フェスティバルにおいて、日米桜寄贈100周年を祝い、今年は特別に新潟県長岡市の花火が打ち上げられた。長岡市より、東久邇信彦名誉顧問、森民夫長岡市長らが出席。夜空を見上げる多くの一般市民が日本三大花火大会のひとつとして著名な長岡花火の美しさに魅了された。 |

日米桜寄贈100周年事業イベント・カレンダー
(ワシントンDC主要行事)

| 日程 | 事業名 | 主催者 | 開催地 | 事業概要 |
|---------|----------------------|--|-----------|--|
| 4月8日(日) | 灯籠火入れ式 | 州協会全米協議会 (National Conference of State Societies: NCSS) | タイダル・ベイسن | <ul style="list-style-type: none"> ・日本から米国に寄贈された最初の桜の木が100年前に植えられた場所であるタイダル・ベイソンにおいて、藤崎大使、ウィリアム・クリスチャンNCSS会長他による挨拶が行われ、式典の最後に、毎年恒例である在米日本大使館子女代表による石灯籠への火入れが行われた。 ・また、タイダル・ベイソンの歴史的意義を広く知ってもらい、今後の100年に向け、次世代に受け継がれるものを残すために、日本風のテイストを加えた景観整備を行う「タイダル・ベイソン景観整備」事業の完成予想図が披露された。 ・本式典において、日本さくらの会より全米50州に寄贈される桜の種が各州代表の桜プリンセスに贈呈された。 |
| 4月9日(月) | 大使主催日米桜寄贈100周年レセプション | 在米日本大使館 | 大使公邸 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャンベル国務次官補、マーシャル儀典長、ウォテキ農務次官、ピリントン議会図書館長、オコナー元最高裁判事等の米政府要人を含む230名余りの出席を得て、日米桜寄贈100周年を祝うレセプションを大使公邸にて開催した。 ・藤崎大使より、当地の幅広い関係諸団体の日米桜寄贈100周年への多大な協力で謝意を表するとともに、若い世代を代表する日米双方の桜の女王、各州桜プリンセス及びNCBF親善大使の労をねぎらった。 ・キャンベル国務次官補より、「桜の木は通常50年程度しか生きないと言われているが、現在も100年前に寄贈された桜の一部がタイダル・ベイソンに生存しており、毎年春になるとその美しさと米国と日本との強いつながりを思い出させてくれている。」とのクリントン国務長官のメッセージが代読された。 |

日米桜寄贈100周年事業イベント・カレンダー
(ワシントンDC主要行事)

| 日程 | 事業名 | 主催者 | 開催地 | 事業概要 |
|----------|------------------------|--------------------|----------------------------------|--|
| 4月13日(金) | グランドボール・ディナー | 州協会全米協議会(NC SS) | ルネッサンス・ホテル | <ul style="list-style-type: none"> ・全米各州・自治区代表の桜プリンセスより、2012年の全米桜の女王をスピンで選出する毎年恒例のNCS S主催行事。日本さくらの女王を選出している日本さくらの会の蓮實常務理事夫妻に加え、石原東京都知事、林横浜市長、鈴木伊勢市長、花みずきの女王・親善大使等、日本からも多数の参加者を得て開催された。 ・石原都知事がまわしたスピンにより、メリーランド州代表のテイラー・バーフィールドさんが2012年の全米桜の女王に選ばれた。テイラーさんは、5月下旬に日本を親善訪問し、野田総理に表敬した。 |
| 4月14日(土) | 全米桜祭りパレード | 全米桜祭り協会(NCBF) | ワシントンDC市内 Constitution Avenue | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年恒例の桜祭りパレードには、米五軍の楽隊員や全米各地の高校のマーチングバンド、玉川大学の太鼓グループ、福島県の山木屋太鼓、日米桜の女王、各州桜プリンセス及び伊勢市の花みずきの女王等、日米より約100の団体・個人が行進した。 ・ワシントン訪問中の石原都知事及び藤崎大使夫妻も参加した本パレードは、ABC放送系列の地元TV局により生中継された(史上初の試みとして、後日録画にて全米各地でも放送)。 |
| 4月14日(土) | 日本ストリートフェスティバル「さくらまつり」 | ワシントンDC日米協会 | ワシントンDC市内 Pennsylvania Avenue | <ul style="list-style-type: none"> ・全米最大規模の日本ストリートフェスティバルである「さくらまつり」には、一日で約4万人が来場し、会場内の4つの特設ステージでの各種パフォーマンス及びブース展示にて、日本の伝統芸能、ポップカルチャー、食文化等の紹介が行われた。 ・本年の「さくらまつり」には、例年以上に日本からも多くの団体の参加があり、東京都の「ヘブンアーティスト」(東京都による審査会に合格したストリートパフォーマー)より4団体、沖縄のエイサー舞踊グループ「風之舞」、三重県伊賀の忍者パフォーマンス等も披露された。また、東日本大震災の被災地より、福島県の物産展「福島プロジェクト」、山木屋太鼓グループのパフォーマンスも行われた。 |